

2010年 4月23日

大学院総合電子工学専攻

担当教員および院生各位

総合電子工学専攻 大学院特別ゼミナール

専攻主任 川口 雅之
世話人 元場 俊雄

次回5月11日(火)に、以下のようなタイトルで特別ゼミナールを行います。高エネルギーの電子ビームが原子核によってどのように散乱されるか、散乱パターンからいかなる情報を引き出すことが出来るか、は興味ある問題である。まず、電子散乱の断面積の角分布から原子核の形状(電荷分布)をさぐる量子論的処方について、点電荷の場合との違いを比較しながら解説する。次に、各種の電荷分布を仮定することにより散乱断面積の角分布を理論的に計算し、その算定結果の意味と原子核の形状に関する情報を引き出す可能性について議論する。

なお、総合電子工学専攻の大学院生は必須ですので必ず出席してください。

記

日時： 2010年5月11日(火) 17:00～(18:00)

場所： J-515 教室

発表者： M08171 藤原 勲

演題：

「電子散乱における角分布と原子核の電荷分布との関係」